

九条北小学校 校長室だより

N0.38 令和2年6月22日



6月20日（土）朝、前日まで降っていた雨があがりました。待ちに待った九条北小学校の入学式を実施することができました。2か月余り遅れての入学式ですが、保護者の皆様とともに、1年生をお祝いすることができました。

★ 入学式～1年生の入学をお祝しました！ ★

1年生は、2年生から送られた「メダル」を首にかけて入場してきました。1年生に向けては、がんばってほしいことを3つ伝えました。「あいさつ」「よくきく」「自分で」の3つです。「あいさつ」は、「おはようございます」など、気持ちよいあいさつをしようということです。「よくきく」は、先生やお友だちの話をよく聞きましょうということです。「自分で」は、自分でできることを増やしていきましょうということです。すでに、学校が始まっているので、できていることもありますが、より取り組めるように頑張ってほしいと思っています。



★ 明日6月23日は、沖縄「慰靈の日」です！ ★

太平洋戦争のときに、日本各地が空襲の被害を受けました。しかし、地上戦の舞台となったのは、沖縄だけです。沖縄戦では、軍人だけでなく、たくさんの民間人も犠牲になったと伝えられています。



沖縄で組織的な戦闘が終結した日6月23日は、「慰靈の日」として沖縄のみ公休日となっています。

この日、沖縄では、太平洋戦争・沖縄戦で犠牲になった20万人余のみ靈を慰め、世界の恒久平和を誓う「沖縄全戦没者追悼式」が、沖縄市糸満市にある摩文仁の丘（まぶにのおか）、沖縄平和記念公園で開催されます。

摩文仁の丘は、沖縄戦終局の地と言われています。現在は、きれいな海を見渡すことができる見晴らしの良い場所となっていますが、実は、ここで最後の死闘が繰り広げられたのだそうです。ここには、平和の礎（へいわのいしじ）があります。平和の礎は、太平洋戦争・沖縄戦終結50周年記念事業の一環として、国籍を問わず、また、軍人、民間人の別なく、すべての戦没者の名前を刻んで、永久に残すため、平成7年6月に建設されました。

